



翼



第10号 令和7年2月4日 発行

「狭き門より入れ」

校長 井上 雅子

1月には各高校の推薦入試が行われ、現在は都立一般入試の出願が終わり、今3年生は、2月10日からの私立一般入試、2月21日の都立一般入試を前にしているところです。既に推薦入試で合格した生徒もありますが、これからいよいよ入試本番を迎える生徒が多くおります。本当に辛く、苦しく、不安な日々だと思います。入学試験は倍率が数倍から何十倍と競争が激しく突破が難しくまさに狭き門の学校も少なくありません。

ある動物行動学者が「若い時期に様々な苦労や困難な経験をし苦しみ悩む、そしてそれを乗り越える経験をしなかった人間は不幸になる」と言っています。今3年生の皆さんは進路決定に向けて、まさに苦労や困難な経験を味わっています。厳しい言い方になるかもしれませんが、私は今、3年生の皆さんに自分にとってあえて辛い体験を味わってほしいと思っています。もっと言えば、自分が選択できる最も厳しい状況をあえて選択し、それにチャレンジしてほしいと思っています。まさに「狭き門より入れ」です。「広き門」からであれば、あまり苦労したり困難を味わったりせずに、簡単に入れます。必死な思いで勝ち取ったものであればその後、困難にぶつかってもせつかく努力して手に入れたものなので、何とか頑張っ乗り越えようと思えるものです。しかしあまり努力をせずに手に入れたものであれば、あまり悩むこともなく、困難に直面したときに「もうどうでもよい」と簡単に手放してしまう場合が多いように思います。

ぜひあえて「広き門」ではなく「狭き門」を選択してそこから入ることができるよう最大限の努力をしてください。ここで苦しめば苦しむほど、悩めば悩むほどその壁を乗り越えたときの満足感、充実感、達成感は大いなものになります。どんなに厳しい冬であっても、必ず暖かい春がやってきます。頑張ってください。

■2年生の校外学習 1月24日(金)

寒い北風の中でしたが、真っ青な空のもと、2年生が都内の校外学習を実施しました。ルールを守り、班で仲良く協力し合い、全班がほぼ時間通りに行動できた素晴らしい学習となりました。上野、浅草、スカイツリー、東京駅など東京の歴史と新しさを体験できる場所に行きました。3年生への進級、最高学年への準備を感じさせる成長の1日でした。



■1年生スキー移動教室 1月30日(木)～2月1日(土) 菅平高原

1年生が先週三日間の移動教室に菅平へ出かけ、スキー実習を中心とした宿泊学習を実施しました。スキーが初めての生徒が多くいましたが、三日間でとても上達できました。行く前はスキーができるか不安な人も多かったのですが、思い切って勇気を出して挑戦し、できるようになった貴重な体験となりました。きっと全員が大きな自信というお土産をもって帰ってきた1年生です。宿舎内では落ち着いた行動ができ、また夜のレクリエーションも学年みんなで楽しむことができました。実行委員会を中心に各係の役割をしっかりと果たし、実りある行事にできた体験はまさに、一人一人が「主体的に考え仲間と協力して行動する」ひばりが丘中学校のあるべき姿でした。2年生への準備ができましたね。



■生徒の活躍

○吹奏楽部 第58回東京都中学校アンサンブルコンテスト 管楽8重奏 金賞

第48回東京都アンサンブルコンテスト東京都代表出場(402団体中22校)

○全日本スキー連盟 スキーテクニカルプライズ合格

■学校評価アンケートのまとめ

第二回の学校評価アンケートを1月に実施いたしました。アンケート項目のうち生徒、保護者、教員の結果を比較できるものについてまとめました。（数字は「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせたものです。また、令和6年度第一回（8月）→第二回となっています）

○生徒は学校に行くのが楽しい

【生徒】89%→89% 【保護者】82%→90%

○学校はわかりやすい授業をすすめるための様々な工夫をしている

【生徒】教科、教員ごとに授業アンケートを実施。【保護者】72%→71% *「教職員は一人一人について昨年度から「わかる授業」ではなく、目標の提示、机間指導や指導内容や方法等の具体的な4項目の問いにしています。」

○時間、挨拶、言葉遣いなど集団のルールやマナーを守り規則正しい学校生活を送っている *教職員については、「生徒に挨拶や言葉遣い等のルールやマナーの大切さを伝え、規範意識を高める指導を行っている」という質問

【生徒】84%→96% 【保護者】90%→89% 【教職員】100%→100%

○学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる

【生徒】96%→97% 【保護者】81%→80% 【教職員】100%→100%

*教職員については、「生徒がいじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できるように教員間で生徒情報の共有を積極的に行っている」という質問。

○学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている。

【生徒】96%→95% 【保護者】69%→75%

○お互いが協力して、生徒会活動、委員会活動、学級の班や係活動に前向きに取り組んでいる

【生徒】97%→98% 【保護者】87%→91% 【教職員】90%→100% *教職員については「学校は生徒が学年学級への所属感や自己有用感をもてるように学校行事や生徒会活動、部活動を充実させている」という質問。

○学校は進路や職業の学習により自分の将来や「夢の実現」に向けた取り組みや指導をしている

【生徒】86%→86% 【保護者】78%→77% 【教職員】96%→85%

○学校は、学校、学年だより、学校HPなどを充実させ学校の取組や生徒の様子を発信している

【生徒】96%→94% 【保護者】93%→96%

○タブレットを家庭学習でも活用している。【生徒】57%→58% 【保護者】54%→49%

○タブレットを利用のきまりを守って使用している。【生徒】98%→98% 【保護者】79%→76%

ほとんどの項目で、おおむね肯定的な意見をいただいていること、生徒アンケートのほとんどの項目で、第二回の数字が第一回より若干上がっていることは評価できると考えます。生徒の「学校へ行くのが楽しい」では、保護者が1学期82%だったのが90%と生徒89%とほぼ同じ数字になったのは、保護者から見ても我が子が楽しく学校に行っている様子が分かるのは、喜ばしいことと考えます。

また「学校はわかりやすい授業を進めるために工夫をしている」では、生徒の授業アンケートではどの授業も肯定意見が80%以上ですが、保護者は71%、また「学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている」では、生徒の肯定意見は95%、保護者は昨年75%と、1学期よりは伸びてはいますが、保護者の評価が低いのは大きな課題ととらえています。また「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、生徒の肯定意見は第二回が97%、保護者は80%と大きな差があります。今後も、日常の観察と聴き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行ってまいります。

さらにタブレットの使用については、家庭学習で活用できるような、生徒の負担が加重にならない課題等を行っていくなど、タブレットの活用をより良いものにしていかなければなりません。

詳しいデータはホームページ等に公開いたします。今後も引き続き学校ホームページを毎日更新し、保護者の皆さまには生徒や学校の様子を発信して参ります。